

千秀だより

横浜市立千秀小学校

2月号

平成28年(2016)2月 1日



Boys Be Ambitious

校長 市川 幸男

厳しい寒さが続く中、暦の上では立春が間近となり、春の訪れを心待ちにする季節となりました。気がつくや、校庭の梅の花も咲き始め、ほのかに甘い香りを漂わせております。そんな折、学校では、先週から風邪やインフルエンザで欠席する児童が増えてきています。また、風邪・インフルエンザの予防のため日頃より体調を整えることを学校でも指導をしていますが、ご家庭でも「うがい」や「手洗い」、そして「十分な睡眠」がとれるようご配慮をお願いいたします。

さて、毎年、この時期になると、小学校を巣立っていく子ども達と昼の会食をしています。給食の時間になると4～5人ずつ6年生がやって参ります。学校生活の様子や小学校の思い出話など、楽しく盛り上がるのですが、その中で、必ず「将来の夢、将来何になりたいか」について、一人ひとりに尋ねます。すると、友達の手前、恥ずかしそうにしながらも「サッカーの選手」「保育園の先生」と応えてくれます。でも中には、「サラリーマン」「公務員」とか、「わからない」「別に・・・」といった答えも返ってきます。それもしっかり自分を見つめての答えではあるのですが、何となく割り切れず寂しい思いをもってしまう。できれば、子ども達には、「〇〇になりたい」「△△のような人になりたい」といった、明るい未来を見つめ将来にワクワク感をもてる夢をもって欲しいと思います。そう思うのは子ども達の夢が、実は、私たち教職員の願いであり、当然保護者の皆様の夢でもあるからではないでしょうか。



○夢や希望があるから、目的や相手意識が生まれます。

○夢や希望があるから、喜び悲しみ怒りを体験しつつ、心身が成長します。

○夢や希望があるから、立ち止まったり、後退したり、前進します。

明治の初め札幌農学校（現北海道大学）の設立時に来日したクラーク博士の残した「少年よ大志を抱け」という有名な言葉があります。その言葉には続きがあり「人間として当然備えていなければならぬ あらゆる事を成し遂げるために大志をもて」とあります。冒頭のAmbitiousとは、夢や希望を叶えたいという気持ちを表す言葉なのです。ひたむきに自分の力を信じ、夢の実現に進んで行かれる子は、その過程で多くの人との接点を持ち、自分だけの夢の実現でなく、自分を取り巻く社会全体の幸せを考えることのできる人として、大きく成長していきます。私たちは、そんな子ども達をじっくりゆっくと育てていきたいと思いません。これから年度のまとめを迎えます。春に立てた自分の目標（夢）を振り返り、できるようになったことをしっかりと認め、将来への大きな自信としていかれるように働きかけていきたいと考えています。

学校評価アンケートご協力に感謝！

11月に学校評価にむけた保護者アンケートを実施いたしました。ご多用の折にもかかわらず、皆様のご協力に感謝いたします。また、毎年温かいご意見、厳しいご意見等多数のご意見を頂けることを大変うれしく受け止めています。温かいご意見は明日へのエネルギーに、厳しいご意見は自分たちの飛躍のチャンスととらえながら改善策を考えていきます。結果の詳細、及び、学校の考え方などは、本年度最後の運営協議会終了後、別紙にて皆様にお届けして参りたいと存じます。